

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1、わたしはふしぎでたまらない	10	●詩のおもしろさや魅力について話し合う。 ●描写をもとに登場人物の相互関係や心情の変化を捉える。 ●伝えたいことを明確にして表現する。	●事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	●読むことにおいて、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ●自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている	●すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
2、これは脳がもともと持っている癖です	12	●文章の中心的な部分に着目し、内容を捉える。 ●考えの中心を明確にして、段落構成を考得ながら文章にまとめる。	●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	●「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ●「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	●粘り強く引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、学習課題にそって図表などを引用して考えたことを書こうとしている。
3、夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た	11	●本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。 ●写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。	●象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	●「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。	●すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
4、森と川と海は一つなのだ	12	●筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。	●事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	●「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	●積極的に文章の構成について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことを書こうとしている。
5、今は昔、竹取の翁といふ者ありけり	11	●音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	●「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	●「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	●積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。
6、白象は寂しく笑ってそう言った	12	●語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ●身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	●音声のはたらしめや仕組みについて、理解を深めている。 ●比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	●「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ●「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	●粘り強く表現の効果について根拠を明確して考えとともに、小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 ●粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
7、子どもは、一人の人間として、大人と同じように人権をもっています	11	●専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。	●比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	●「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	●粘り強く自分の考えを確かなものにするともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
8、ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである	12	●問いと答え、事実と意見の関係を捉える。 ●いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。	●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している	●「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ●「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。	●すすんで理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。 ●すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
9、「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな。」	10	●語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。	●事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	●「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	●粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、学習の見通しをもって小説を読んで考えたことを記録しようとしている。

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 かすかな潮のにおいは、そこにもあった	17	●登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。	●抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	●「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。	●すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。
二 富士山に降った大量の雨は、どこへ行ってしまったのだろうか	17	●事例の提示や、問いと答えの関係を確認しながら読む。 ●お互いの発表を聞き、構成や意見と根拠的確かさを確認し合	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	●「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	●すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。
三 神様はその人へ乗り越えられない試練は与えない	16	●集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 ●自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。	●情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	●「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	●粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
四 紙管の工場は、世界中のどこにでもある	17	●持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。 ●考えの理由づけを示して意見を書く。	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	●「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。	●積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。
五 祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり	17	●古人のものの見方や考え方に對して、自分の考えをもつ。 ●言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。	●現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	●「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	●すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、理解したことや考えたことを説明しようとしている。
六 もはや逃げ場所はないのだ	14	●人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。 ●漢字の多義性についての理解を深める。	●第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	●「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。	●すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。
七 鯨や象のもつ「知性」は、いわば「受容的な知性」とでも呼べるものだ	14	●筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	●「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	●積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生か仕方を考えようとしている。
八 「学ぶ力」は他人と比べるものではなく、個人的なもの	14	●筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ●結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。	●意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	●「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	●今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。
九 訳のわからぬ大きな力	14	●登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。	●抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	●「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。	●すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 私が「私」であるということ	10	<ul style="list-style-type: none"> ●要約や体験談にふさわしい表現のあり方を考える。 ●どのようにすれば効果的に表現できるかを考える。 ●場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深める。 ●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この詩の中で用いられた表現方法の工夫について理解している。 ・慣用句や四字熟語などを用いて一言でまとめる、豊かな語彙をもっている。 ・言葉の使い分けに注意し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれた思いの内容や表現の効果について自分の考えを述べている。 ・自分の体験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使ってわかりやすく話している。 ・場面や登場人物の設定の仕方を捉え、作品を読み深めている。 ・作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に描かれた思いを自分の心と比べて考えようとしている。 ・話を聞いて、その内容から自分の体験を思い起こして話そうとしている。 ・意欲をもって作品を読み深め、批評していくなかで、情報としての言葉とその問題に関心をもちようとしている。
二 写真からは「美しく撮る」という明確な意志が感じられた	7	<ul style="list-style-type: none"> ●目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。 ●同一の新聞記事・テレビニュースの報道を比較して読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『薔薇のボタン』に描かれたさまざまな表現について考えている。 ・語句に注意して、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本や文章を読み、自分の考えや知識を広げている。 ・論説や報道などを読み比べることをとおして、その表現の仕方などを評価している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の読書生活を振り返ろうとしている。 ・情報伝達の手法の違いを理解し、比較しながら読もうとしている。
三 人工知能の進化によって、そのような「知性」観の見直しが迫られている	12	<ul style="list-style-type: none"> ●事例の取り上げ方や述べ方の工夫を捉え、筆者の提起している課題を共有する。 ●事例と主張の関係を捉え、筆者の提起している課題を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の言葉の使い分けに注意して読み、言葉に関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み比べるなどして、構成や表現の仕方について評価し、筆者の考えに対する自分の意見をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通するテーマをもつ二つの文章を比較して読もうとしている。
四 このピアノは、自然が調律した元の形に戻ろうとしたのだ	17	<ul style="list-style-type: none"> ●事例と主張の関係を捉え、筆者の提起している課題を共有する。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。 ・粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。
五 月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり	12	<ul style="list-style-type: none"> ●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。 ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
六 地上の道のようなもの	14	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉の意味を掘り起こして読む。 ●表現上の工夫に注意して、暗唱する。 ●一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。 ・粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
七 生命は、恒常的に見えて、いずれも一回性の現象である	13	<ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。 ●自分の文章の収集と整理をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に今までの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。
八 人間というのは、どこまでいっても自分以外にはなれないものだ	4	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。